

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.173
2007年11月発行

財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

「雑感」

常務理事 鈴木 康司

1970年代末頃だったろうか、初めて、この場所を講師として訪れ、日本各地から集まってフランス政府の給費留学生試験を受けようと合宿し、フランス人教授の指導を受けていた大学院生諸君の熱心さに打たれ、交通不便ではあるが自然環境に恵まれたセミナーハウスの意義を理解したのが始まりだった。

以来、とんとご無沙汰していたのが、6年前経営の末席に連なり改めてここに来て驚いた。セミナーハウスは、時と共にうらぶれ、建物は劣化し現代の若者をひきつける要素が見当たらない。理由のひとつは、最初の頃にはあった国からの助成金がバブル崩壊後、どんどん削られて皆無となったことにもよろうが、建物のライフサイクルを考えず、時代に合わせて改良すべき施策を先延ばしにしてきた危機管理のまずさにあったろう。幸いにして、理事長、館長、職員一同の懸命な努力と思いついた改築あるいは留学生会館の新築、さらには学術・文化・産業ネットワーク多摩の協力などにより面目が一新され、少しずつではあるが全体の建て直しが進み、希望が仄かに見えてきたのは嬉しいことである。

大学セミナーハウスのように、教育の原点を示し、学問の基礎を中心として学ぶ喜びを伝え得る場というのは、経済効率から見るとまだるっこしいに違いないし、高級官僚の天下り先としては全くうまみのない非営利財団法人だから、国からの援助は今後も期待できない。しかし、我々大学人としては、大学間の壁を超えて学生同士の交歓や文化活動、国際交流が行われる場、さらに大学人だけでなく産業界の人たちとの自由な意見交換の場として、この施設をもっと多目的に活用すべきではないだろうか。

最近、国による教育改革の声が喧しい。だが、ともすれば金にならない基礎研究を無視し、先端的学問のみに



目を奪われ、文化の擁護者としての使命など忘れ去った経済界のお偉方や、自分か相手のどちらかを選べと言いながら、国政選挙の結果を無視して勝手な屈れをごねたあげく沈没した政界のお偉方に教育改革などと言って欲しくない。方々はかつて総理時代に中曽根康弘氏が好んで使った「綸言汗の如し」という漢書の文言をご存知だろうか。学問は地味であろうが無かるうが、人が人として尊厳を保つのに必要な本質を学ぶもの。大学セミナーハウスは訪れる者全てが自然の懐に抱かれて、忘れていた大事なことを学びなおす絶好の場であろう。

●鈴木 康司 (すずき こうじ) プロフィール

財団法人日仏会館副理事長・中央大学名誉教授

専門：フランス演劇史 (文学博士)

- 略歴：1952年 東京教育大学付属高等学校卒業
1956年 東京大学文学部仏文学科卒業
1959年 同大学院人文科学研究科仏語・仏文学修士課程修了
1960～62年 文部省派遣フランス政府給費留学生としてパリ大学留学
1964年 東京大学大学院人文科学研究科仏語・仏文学博士課程満期退学
1964～66年 中央大学文学部専任講師・助教授
1974年 同大学文学部教授
1983年 同大学学生部長
1984～86年 バリ国際大学都市日本館館長
1989～93年 中央大学文学部長
1999～2002年 中央大学学長
2002年～ 財団法人大学セミナーハウス常務理事

社会活動：日本フランス語フランス文学会会員

受賞：第25回毎日出版文化賞 (1971年)

教育功労賞オフィシエ (フランス政府 1987年)

平成9年度芸術選奨文部大臣賞 (1989年)

第115回理事会・第93回評議員会

実施日：平成19年5月28日（月）
場所：桜美林大学新宿第2キャンパス

『理事会』

出席者 9名、書面による出席者11名、合計20名

『評議員会』

出席者 9名、書面による出席者42名、合計51名

平成18年度事業報告書及び平成18年度一般会計収支決算書を中心に審議がなされ、いずれも原案通り承認されました。

主な協議事項及び報告事項は次のとおりです。

◎評議員の選任について

次のとおり評議員が選任されました。任期は、平成19年5月28日から平成20年5月31日までです。

(1) 学識経験者の新任

小磯 明 東京都議会議員
上野 淳 首都大学東京基礎教育センター長
高石 道明 元信州大学教授
高原 明生 東京大学大学院教授

(2) 協力校の学長交替による新任

佐野 ぬい 女子美術大学学長
島田 晴雄 千葉商科大学学長
山本 英夫 創価大学学長

なお、立石雅夫女子美術大学前学長、加藤寛千葉商科大学前学長、若江正三創価大学前学長は、平成19年5月28日付けで評議員を辞任されました。

◎寄付行為の一部改正について

懸案になっていました、寄付行為の一部改正案が承認されました。主な改正点は次の通りです。

- 理事会及び評議員会の定足数に関する事項、基本財産の処分等の重要事項に関する理事会及び評議員会の議決要件に関する事項について、公益法人指導監督基準等に従い厳格化した。
- 役員との特殊な関係のある者の就任について、公益法人指導監督基準等に従い制限規定を新設した。
- 理事および評議員の定数を縮小し、運営の効率化を図った。
- 諸書類及び帳簿等の一般への閲覧に関する規定を、公益法人指導監督基準等の情報開示の方針に則り新設し法人運営の適正化を図った。
- その他、字句及び形式等の整合を図った。

◎平成18年度事業報告書・平成18年度一般会計収支決算書について

平成18年度事業報告書について、利用状況は延29,284人で前年度に比べ4,804人の増加であったこと、また、主催セミナーは7回開催し参加者は延363人であったことなどの説明がなされ、審議の結果承認されました。

平成18年度一般会計収支決算書について、利用者数の増加により事業収入が増加したこと、またこの結果財務内容が改善されたことなどの説明がなされ、審議の結果承認されました。

果承認されました。

収支決算書は別表1の通りです。

◎報告事項について

事務局から配布資料に基づき、「利用状況」「平成19年度主催セミナー開催予定」「敷地造成事業」「遠来荘」「運営幹事会の発足」などについて報告されました。

これらの報告事項の中で特記事項は次の通りです。

- 「利用状況」については、一般校及び社会人の利用増が目立った。
- 「遠来荘」については、愛媛県西条市への移築が決まった。
- 「運営幹事会の発足」については、平成19年5月23日に第1回目を開催し大学セミナーハウスの運営に関して大変有意義な意見が多数寄せられた。これらの意見に積極的に対応していく。

以上

平成19年度第1回常務理事会

実施日：平成19年5月28日（月）
場所：桜美林大学新宿第2キャンパス

(出席者)

佐藤東洋土理事長はじめ常務理事 8名

(主な議事)

第115回理事会と第93回評議員会へ上程する議題等について協議しました。

- 平成18年度事業報告書及び平成18年度一般会計収支決算書。
- 寄付行為の一部改正。
- 施設改修計画について。
- その他。

以上

別表1

平成18年度 収支決算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日) 単位：円

| 科 目 | 当年度 | 科 目 | 当年度 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| I 収入の部 | | II 支出の部 | |
| 基本財産利息収入 | 1,962 | 管理費 | 108,092,088 |
| 会費収入 | 54,300,000 | 人件費 | 40,962,811 |
| 事業収入 | 241,507,297 | 施設管理費 | 26,524,212 |
| 宿泊収入 | 119,681,500 | 一般管理費 | 40,605,065 |
| 施設収入 | 24,886,524 | 事業費 | 104,770,102 |
| 食堂収入 | 68,434,973 | 人件費 | 34,439,696 |
| 留学生会館収入 | 12,883,100 | 一般事業費 | 64,675,296 |
| 造成事業特別収入 | 15,621,200 | 学生セミナー事業費 | 259,966 |
| セミナー会費収入 | 6,230,916 | 教職員セミナー事業費 | 5,307,422 |
| 補助金等収入 | 0 | その他セミナー事業費 | 87,722 |
| 寄付金収入 | 3,224,537 | 食堂事業費 | 64,609,211 |
| 雑収入 | 7,923,921 | 食堂事業直接費 | 29,288,916 |
| 退職給与引当預金取崩収入 | 13,000,000 | 人件費 | 28,869,200 |
| 特別会計繰入金収入 | | 食堂事業間接費 | 6,451,095 |
| 短期借入金収入 | 400,000,000 | 固定資産取得支出 | 187,503,569 |
| 長期借入金収入 | 177,700,000 | 短期借入金返済支出 | 400,000,000 |
| | | 長期借入金返済支出 | 21,327,158 |
| | | 特定預金支出 | 6,000,000 |
| 当期収入合計 | 903,888,633 | 当期支出合計 | 892,302,128 |
| 前期繰越収支差額 | 43,816,266 | 当期収支差額 | 11,586,505 |
| 収入合計 | 947,704,899 | 次期繰越収支差額 | 55,402,771 |

第1回運営幹事会

実施日：平成19年5月23日（水）
場所：桜美林大学新宿キャンパス

（出席者）

運営幹事11名（総員15名中）
理事長、館長、専務理事。大学セミナーハウス職員5名。

冒頭、佐藤理事長から「協力会員校の意見要望を十分聴取したうえで大学セミナーハウスの課題解決をはかりたいので、運営幹事のご協力をお願いしたい。」、荻上館長から「体質改善、組織の建て直しなくして大学セミナーハウスの将来はないと認識しているので運営幹事の忌憚のない提言をいただきたい。」との挨拶がありました。

運営幹事からの提言および提言に対する大学セミナーハウスからの回答・説明は次の通りです。

| 提言内容 | 大学セミナーハウスの考え |
|--|--|
| 1. 利用促進活動充実。 ・利用促進活動 ・知名度UP ・きめの細かい需要調査 ・施設の改修 ・その他 | 1. 積極的に会員校訪問を行う。 2. 利用者アンケートを実施する。 3. セールスポイントのPR活動充実のための資料作りと配布。 4. 地域との連携を強化して利用者の底辺拡大努力を行う。 5. 施設改修に積極的に取り組む。 |
| 2. 主催事業の充実 | 共同企画を推進していきたい。 |
| 3. 運営幹事会 | 3回/年の開催計画にこだわらず適宜開催していきたい。 |

大学セミナーハウスからの報告事項は次の通りです。

1. 平成18年度、平成19年度利用状況について
2. 平成19年度主催セミナー開催予定について
3. 敷地造成事業および遠来荘の移管移築について
4. 平成18年度事業報告案、平成18年度決算案について
5. 寄付行為の一部改正案について
6. 評議員の選任（補充）案について

運営幹事名簿は次の通りです。

運営幹事会名簿 (50音順)

| 所属 | 氏名 | 役職 |
|---------|---------|-----------------|
| 青山学院大学 | 永井 純二 | 庶務部長 |
| 桜美林大学 | 本郷 優紀子 | 総合研究機構事務局長 |
| 慶應義塾 | 栗生 賢一郎 | 職員センター課長 |
| 国際基督教大学 | 中村 正子 | 事務局長 |
| 駒澤大学 | 小林 清次郎 | 総務部長 |
| 首都大学東京 | 加藤 洋子 | 基礎教育センター教務課長 |
| 中央大学 | 神宮 純夫 | 事務局長 |
| 帝京大学 | 船坂 則夫 | 本部事務長 |
| 東京学芸大学 | 牧山 助友 | 事務局長 |
| 東京大学 | 矢野 由美 | 本部統括長(教育・学生支援系) |
| 日本女子大学 | 島田 京子 | 事務局長 |
| 東京農工大学 | 小山 晴己 | 総務部長 |
| 法政大学 | 近藤 清之 | 第一学生課長 |
| 立教大学 | 阿久津 美都子 | 学生部副部長 |
| 早稲田大学 | 金子 博 | キャリアセンター長 |

以上

第2回運営幹事会

実施日：平成19年8月4日（土）
場所：大学セミナーハウス交友館、さくら館

（出席者）

運営幹事11名。後日ご見学1名。（総員15名中）
理事長、館長、専務理事。大学セミナーハウス職員5名。

冒頭、佐藤理事長から「今回は施設をご見学いただきて課題をご指摘いただきたい。また、大学セミナーハウスを自分たちのキャンパスの一部とさせていただき大いに活用いただきたい。」、荻上館長から「施設の新築・改修に関して設立当時の理念も考慮しながら取り組んできている。利用者に対する『サービス』の概念ももっと定着させていくので大いにご利用願いたい。」との挨拶がありました。

その後、36度の猛暑の中、一時間をかけて、施設の見学をしていただきました。（交友館、さくら館、ユニットハウス、中央セミナー室、松下館、記念館、大学院セミナー室、講堂、本館、国際館、留学生会館）

運営幹事からの提言および提言に対する大学セミナーハウスからの回答・説明は次の通りです。

| 提言内容 | 大学セミナーハウスの考え |
|---|---|
| 1. 利用促進活動充実。 ・会員校特典見直し ・ホームページの充実 ・PR方法充実 ・施設改善情報などの発信方法検討 ・その他 | 1. 閑散期やウィークデーの利用者増対策の一環として特典の見直しを検討する。 2. ホームページの充実について取り組み中である。 3. 首都圏の大学を中心に広報している。 4. 宣伝広報のために運営幹事の協力を得てきめ細かなPR活動を行う。 |
| 2. 主催事業の充実 ・親入職員セミナーの企画 ・会員校共同企画セミナーへの取り組み ・平日開催の検討 ・講師の人選 ・大学間で情報交換ができる研修 ・その他 | 新企画セミナーの開催も含めて、各セミナー企画委員との連携の下に十分検討して取り組みを進める。 |
| 3. 施設見学しての問題点指摘事項 ・トイレの改修 ・バリアフリー対策 ・IT化の充実 ・グラウンド整備 ・その他 | 1. トイレについては、ウォッシュレット化を進めている。 2. フェンスの設置や防犯ベルの取り付けなど防犯対策を進めている。 3. バリアフリーについては、東京都の助成などを得て、スロープ化や車椅子用階段昇降車の購入に取り組んでいる。 4. グラウンド整備後の活用についてアイデアのご提案をお願いしたい。 |

大学セミナーハウスからの報告事項は次の通りです。

1. 第1回運営幹事会での提言に対するIUSHの回答
2. IUSHの課題
 - ・利用促進
 - ・施設改修計画
 - ・主催事業改善
 - ・サービス内容の改善
3. その他

以上

会費をありがとうございました

平成19年4月～9月 (敬称略)

加藤晴久、柏原啓一、金子六郎、滝口俊子、上野芳康、橋口英俊、奥山典生、瀬戸岡 紘、長谷川幸男、澤島侑子、水野弘文、椿 弘次、福島 明、荒井 猷、長岩 寛、城 謙輔、芳賀 徹、朝野洋一、箱木眞澄、佐藤 進、古畑和孝、安宅光雄、大村晴雄、本江哲郎、小倉倉夫、吉田幸弘、宅間 宏、田中 裕、大内 力、金子 晃、中嶋嶺雄、石川信男、白井久和、中田良平、中野スミ子、児玉昭太郎、今堀和友、黒田道雄、三橋文雄、常行敏夫、富塚文太郎、西澤宗英、荒川有史、慶谷伸代、入江和生、水谷眞智子、厚東偉介、中村幸安、松平文朗、築田長世、小川信子、荒井 基、松島 恵、藤原鎮男、金谷 憲、中村浩三、川原啓美、小池 滋、高橋公雄、柏木恵子、橋本 智、長田洋子、小林哲也、島田治夫、吉田美穂子、三宅 彰、山本 茂、宮本瑞夫、伊藤意智郎、仙田 哲、柴田 誠、中山光雄、太幡祐己、稲田 拓、古本捷治、綿引二郎、原島幸太郎、有末 賢、米村貞蔵、栗原 裕、山田耕司、志賀 英、鈴木一道、村田光二、柳下綱道、荒川由美子、山本武彦、國岡昭夫、岡村文子、荻原洋太郎、新井勝紘、八幡義博、宮野三郎、野崎昭弘、田中弥寿雄、出居 茂、得田保雄、岩崎征人、小堀桂一郎、朽津耕三、鈴木俊和、長内 了、林 勲、村上陽一郎、平野健一郎、久場嬉子、伊藤一郎、桐原五十鈴、小和田 恆、奥田眞丈、関口利男、東 壽太郎

会員からのメッセージ

- ◆今後ご発展を祈っています。大塚 博
- ◆無事誕生日をむかえることが出来ました。感謝の気持ちですが、お送りします。 澤島侑子
- ◆新館効果で利用者が増加傾向の由、喜ばしい限りです。益々のご発展を心からお祈りします。 本江哲郎
- ◆なつかしい真理の鐘の写真を有難うございました。私も81歳をむかえることができました。なお、昨年私の千人会宛のコメントに卒寿とありましたが、正しくは傘寿です。 吉田幸弘
- ◆カードをありがとうございます。89歳です。ニュースを拝見し、運営のご苦勞に改めて感謝しています。あの頃の岡先生を思い出しています。「この種の施設、学生だけでなくおじさん、おばさん地域のプログラム」にすると、のはなしがありました。海老沢さんは東山荘のYMのこと、わたくしに青少年センターのことを今は昔でなつかしくてなりません。 中野スミ子
- ◆古稀を迎えました。貧者の一燈を捧げます。新聞で見付けた明治の秀句です。「若葉雨なしてかやさしくものを言う」西島麦南。 児玉昭太郎
- ◆誕生日レター、有難うございました。セミナーハウスのモットーシンプルライフアンドハイシンキングを生活の規範として毎日を生きて居ります。感謝致しております。セミナーハウスの増々の充実とご発展をお祈り致します。 三橋文雄
- ◆本年もお陰様で無事誕生日を迎える

- ことが出来ました。御清榮をお祈り申し上げます。 慶谷伸代
- ◆お誕生日カード誠に有難く嬉しく拝受いたしました。セミナーハウスのますますの発展・充実を祈るのみ！ 厚東偉介
- ◆小額ですが、役立てて下さい。海外出張中だったため、遅くなり、申し訳ございません。 中村幸安
- ◆美しいカードを有り難うございます。鐘の音が聞こえる様でなつかしく感じます。 小川信子
- ◆誕生日のカード有り難うございます。元気で誕生日を迎えられることをうれしく思います。大学セミナーハウスの一層のご発展をお祈りいたします。 松島 恵
- ◆美しい誕生日カード御恵送たまわり、まことに有難く、それも私の誕生日の配送にて御厚情の程衷心よりお礼申し上げます。 藤原鎮男
- ◆このところ、貴ハウスからの通信に(財)大学セミナー・ハウス・大学セミナーハウス・八王子セミナーハウスなど幾通りものネーミングを散見します。どれが本体で、機関決定されたものか、いささか混乱します。名実とも一つがいいですね。(ニックネーム)ならその旨付記されるならともかく。 綿引二郎
- ◆お誕生日カード有難うございました。元気に78歳の生活を楽んでいます。 米村貞蔵
- ◆こしばらく足が遠のいております。ぜひ近いうちに訪問したいです。一

- 層の発展を期待しております。 栗原 裕
- ◆益々ご発展のご様子ご同慶のいたりです。30年位前でしょうか、本の執筆の為、車に資料を積み込んで、4、5日そちらで塾居したこと等、懐かしく思い出します。残暑きびしい折、皆様お大事に。 志賀 英
- ◆誕生日祝を頂き、誠に有難く存じて居ります。85歳を迎え、元気に頑張っております。ハウスの益々のご繁栄を祈念申し上げます。 柳下綱道
- ◆遅くなって申し訳なし。この暑さ、老体には応えます。 山本 武彦
- ◆お陰様で無事喜寿を迎えました。 荻原洋太郎
- ◆最近ゼミ生と、戦地から銃後の家族などに宛てた手紙(軍事郵便)を読んでいます。筐底に忘れさられたようにしまわれていた手紙から、戦場の兵士の心情を読みとろうと努力しています。 新井勝紘
- ◆大学セミナーハウスの益々のご発展をお祈り申し上げます。 得田保雄
- ◆増々のご発展を北海道より祈念しております。還暦を迎え、若き日を想い、訪ねたいと思っております。鈴木俊和
- ◆今年もお知らせをいただき、有難うございました。留守をしており、ご返事が遅くなり申し訳ございません。来年は誕生月のうちに納入できるような心かけます。 長内 了
- ◆幸い71歳を迎えることができました。もう少し世の中の為に働く所存です。 村上陽一郎

ご利用ありがとうございました

(平成19年4月～9月)

* =同月2回利用
 **=同月3回以上利用
 日帰り利用はグループ数のみ
 (延べ人数には日帰り利用は含まず)
 ○新入生オリエンテーション
 敬称略

■4月(66グループ、延3,317人)

横浜国立大学 小川慎一
 首都大学東京「寮」
 東京学芸大学 山田有策
 東京工業高等専門学校電子工学科2年生
 首都大学東京教育学
 お茶の水女子大学音楽科オペラ
 埼玉大学 福岡安則
 ○青山学院大学理工学部
 首都大学東京都市教養学部
 日本大学大学院理学研究科*
 ○中央大学独文学専攻
 ○中央大学心理学研究室
 お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環
 明治大学 森 久
 中央大学 木下徳明
 東京学芸大学家庭科
 ○首都大学東京物理学コース
 ○首都大学東京機械工学コース
 ○東洋大学社会文化システム学科
 ○東京農工大学環境資源科学科
 慶應義塾大学萩野研究室
 ○中央大学文学部教育学専攻
 東京学芸大学松川研究室
 東京学芸大学社会文化専攻生涯学習専攻
 アイセック立教大学委員会
 首都大学東京竹宮研究室
 学習院大学シェイクスピアドラマソサエティ
 法政大学 曾村充利
 慶應義塾大学模擬国連
 ○白梅学園短期大学保育科
 文教大学 広内哲夫
 関西大学 水野由多加
 国際物理オリンピック代表候補者合宿
 佼成学園数学研究部
 東京YMCA社会体育・保育専門学校
 ○横浜創英短期大学
 杏林大学 熊谷文枝
 ○駒沢女子大学基礎ゼミ
 実践女子大学生活文化学科
 一橋大学 村田光二
 (株)エコス
 アドバンスト・アプリケーション(株)
 ガーデンペーカリー(株)
 (株)アーレスティ
 (株)魚力
 (株)ジャパンプリントシステムズ
 (株)スリーボンド*
 国際ロータリークラブ第2750地区
 中央電子(株)
 伊勢丹労働組合
 (株)いなげや*

(株)壽屋*
 東京電力合唱団
 日本自費出版ネットワーク
 アイゲンエンジニアリング(株)
 (株)オザム
 オリnbas(株)
 山二ガス(株)
 国立キリスト教会
 日本ショーペンハウアー協会
 個人利用
 高知工科大学 伴美喜子
 日帰り利用
 エコ・ネットワーク八王子**
 首都大学東京 伊永隆史**
 ツリーマスター・クライミングアカデミー
 帝京科学大学 別府敏夫
 火の文化を伝える会

■5月(67グループ、延3,871人)

芝浦工業大学電子計算研究会
 日本大学 辻 忠博
 明星大学 星山麻木
 青山学院大学新聞編集委員会
 中央大学ポピュラーソング研究会
 中央大学白門会
 桜美林大学 大木昭男
 グリーンリーブス
 電気通信大学 上野芳康
 ○東京農工大学有機材料化学科
 中央大学英語学会
 早稲田大学 河西宏祐
 武蔵工業大学教職課程
 中央大学国際交流センター
 東京農工大学 森島圭祐
 首都大学東京 宮下 清
 明治大学 本所靖博
 アイセック中央大学委員会
 ○明星大学造形芸術学部プロダクトデザイン
 法政大学 山本 茂
 中央大学囲碁部
 ○首都大学東京システムデザイン学科
 帝京大学 郷 健治
 東京学芸大学人間福祉課程総合社会システム生活福祉分野
 中央大学商法研究会
 青山学院大学 井川 肇
 立教大学 郭 洋春
 首都大学東京地理学教室
 慶應義塾大学アイセックOUVEA
 ○東京学芸大学表現コミュニケーション専攻
 東京都立成瀬高等学校1年生
 静岡県立大井川高等学校野球部
 NTC
 杏林大学 千葉 洋
 一橋大学 神武庸四郎
 桜美林高等学校国際交流部
 和光大学 林真一郎
 ツリーマスター・クライミングアカデミー*
 救世軍東京東海連隊
 万国デフ・バプテスト福音伝道協会
 カルバリ・チャペル
 (株)スリーボンド*
 フェイスフィルハーモニー管弦楽団

トヨタホーム東京(株)
 気導術勉強会
 大東建託(株)*
 (株)栄光
 (株)いなげや*
 (株)マトリクス
 (株)パワーステム
 (株)エコス
 山水グループ
 ガーデンペーカリー(株)*
 現代和風庭園(有)
 子どもとつくる生活文化研究会
 アーバンリゾーツ昭和の森(株)
 (株)テラオカ
 (株)マルハン
 日本分光(株)
 日帰り利用
 エコ・ネットワーク八王子*
 ツリーマスター・クライミングアカデミー
 首都大学東京 伊永隆史
 (株)アーティット
 紫水会遠来荘奉仕グループ
 火の文化を伝える会*
 アキレス(株)断熱資材販売部

■6月(48グループ、延2,046人)

横浜国立大学臨時養成課程
 首都大学東京宿泊セミナー
 (財)国際教育振興会(日米会話学院)
 中央大学PPF
 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻
 法政大学 陣内秀信
 東京工業大学 木嶋恭一
 中央大学国際関係研究会
 東京大学統計学セミナー
 東京工業大学・ジョージア工科大学サマープログラム
 立教大学 浪岡新太郎
 日本大学大学院理工研究科
 中央大学環境問題研究会
 東京大学バシフィカス
 国際基督教大学 山口富子
 第28回日豪合同セミナー
 アイセックジャパン
 北海道大学ビッググリーンクラブ
 第8回「世界とアメリカ」セミナー
 鈴鹿市立千代崎中学校
 学校法人山野学苑
 朝鮮大学校財務管理ゼミ
 日本女子大学附属高等学校
 第35期十大学合同セミナー
 地域づくりインターンの会
 第1回大学コミュニケーション力養成セミナー
 (財)日本自然保護協会
 プリリアントハーモニー
 (株)生活科学運営
 (株)いなげや*
 アクト・セン(株)
 (社)日本山岳協会
 日本ハウスケア協会
 横河電機(株)
 ガーデンペーカリー(株)
 (株)テラオカ

アジレント・テクノロジー(株)
(株)オザム
(株)キーバインド
日帰り利用
首都大学東京理工学研究科数理情報科学
エコ・ネットワーク八王子*
マイクロソフト(株)
東京造形大学
(株)ノジマ
首都大学東京都市教養学部
ツリーマスター・クライミングアカデミー*
火の文化を伝える会
帝京科学大学 別府敏夫

■7月(64グループ、延1,896人)

東京経済大学21世紀教養プログラム
早稲田大学 檜垣樹里
PERSPECTIVE研究会
中央大学 横湯園子
明治大学 カク燕書
早稲田大学 毛里和子
法政大学しゅわしゅわ
首都大学東京 森 泰親
東京学芸大学英語科
首都大学東京心理学研究室
早稲田大学 河西宏祐
東京外国語大学 亀山郁夫
大妻女子大学 塚本明子
創価大学 戸田龍樹
東京外国語大学 丹羽 泉
早稲田大学 喜多明人
立教大学 河東田博
法政大学 漆原和子
桜美林大学 川西重忠
明星大学小貫 悟・早稲田大学菅野 純
合同合宿
立教大学 尾崎俊哉
アイセック慶應義塾大学委員会
慶應義塾大学 今口忠政
駒澤大学 村井良太
中央大学通信教育部
明星大学通信教育部
東京都立八王子工業高等学校定時制
実践女子短期大学 藪田碩哉
JANICユース
津田塾大学 村上 健
めじろ台ファイターズ
八王子実践近隣中学校バレーボール大会
ICSカレッジオブアーツ
東京都立成瀬高等学校2年生
東京都立東村山高等学校
八王子台町4丁目こども会野球部
北京市陳経綸中学校
啓明学園幼稚園
日本女子体育大学附属二階堂高等学校
東京都立南多摩高等学校帰国生徒部
拝島第二小学校FC
東京都立成瀬高等学校茶道部
日本赤十字社神奈川支部
(株)アド
ネッカチーフの会
ガーデンバーカリー(株)

聖ヶ丘壮年会
アライド
高橋聖書集会ヨシユア会
(株)生活科学運営
日本電子(株)KF委員会
日本ハウスケア協会
ジュードシステムズ(株)
歴史学研究会
文学教育研究者集団
南大沢フィルハーモニー
大久保集会
ラフターヨガ・ジャパン
町田クリスチャンセンター

日帰り利用

エコ・ネットワーク八王子
神奈川大学 室次次郎
ツリーマスター・クライミングアカデミー
(株)ビデオプランニング
帝京科学大学 別府敏夫

■8月(119グループ、延5,484人)

日本大学 湯浅正敏
恵泉女学園大学サマーキャンプ
明星大学 深澤 清
青山学院大学 岩田みゆき
立教大学 是永 論
横浜国立大学 永井圭一
上智大学 鬼頭 宏
青山学院大学 渡邊千秋
早稲田大学 上柳敏郎
東京大学住吉翔太グループ
学習院大学 高橋利宏
中央大学会計学研究会
日本大学 村木隆英
駒澤大学心理学教室
桜美林大学ワンワールド・ワンピープル
東京理科大学大澤ゼミ
明星大学環境システム学科
早稲田大学教授 荒尾 孝
東洋英和女学院大学 篠原道夫
東京都立大学バトミントン同好会
早稲田大学建築展
慶應義塾大学 高橋正子
中央大学将棋部
法政大学小椋ゼミ
法政大学 八名和夫
TOFSIA
青山学院大学 茂 牧人
早稲田大学山本武彦ゼミナール
中央大学 緑川 晶
法政大学 堀上英紀*
女子美術大学付属高等学校・中学校
創価大学林の会
首都大学東京劇団時計
創価大学スクーリング生
千葉商科大学体育会本部
千葉大学 塩田瑠美
桜美林大学孔子学院
駒澤大学 谷敷正光
東京農業大学 大久保武
東洋大学 小林秀年
駒澤大学 高田知波

恵泉女学園大学 篠田真理子
東京工業高等専門学校
駒澤大学スポーツ新聞編集部
明治大学 藤井秀登
東京工科大学 田胡和哉
創価大学経済学部インターナショナルプログラム
東京外国語大学 投野由紀夫
埼玉大学 福岡安則
東京学芸大学大学院声楽科
国際基督教大学ディベーターインクソサエティ
明治大学 川嶋周一
横浜国立大学FD合宿研修会
東京学芸大学 金谷 憲
東京外国語大学 中川 裕
東京学芸大学学生自治会
中央大学 木下徳明
芝浦工業大学 鈴木徹也
東京大学HK準備合宿
中央大学通信教育部
明星大学通信教育部
杏林大学英語研修*
数論セミナー
共立女子大学 見田宗介
生体機能関連化学部会サマースクール
学習サークルたんぽぽ会
目白大学看護学部看護学科
現代と経済
東京都立町田高等学校1年生
多摩大学経営情報
東京力学系セミナー
ロシア語劇団コンツェルト
全国大学生環境活動コンテスト
佼成学園数学研究部
大東文化大学 高木茂行
町田市水泳協会
武蔵野大学スクーリング生
多摩学生カウンセリング研究会
聖ヨゼフ学園演劇部
足利デザイン・ビューティー専門学校
立命館大学体育会男子サッカー部
千葉県立君津高等学校
津田塾大学英語会
日米学生会議
工学院大学附属中学高等学校自転車部
渋谷教育学園渋谷高等学校
東京神学大学公開夜間神学講座
幼稚園委員会
エコ・ネットワーク八王子*
東村山市教育委員会
千葉県学校レクネットワーク
今人プロジェクト
(株)オザム
文学教育研究者集団
武蔵野フォークダンス同好会
AITC
興学社学園
合気道開道場
日本赤十字社神奈川支部
調布「憲法ひろば」
東京多摩いのちの電話
授業研究会

社会福祉法人いのちの電話
八王子カルチャーセンター

(株)グッドウイル
八王子市教育委員会
あきるの市教育委員会

(株)オザム*
(社)国際商事法研究所
ホワイトホースシアター
赤十字語学奉仕団
ツリーマスター・クライミングアカデミー
日本赤十字社
あしなが育英会
カウンセリング研究会

個人利用

東京外国語大学 永井絢子
首都大学東京 井出 明

日帰り利用

第10回四季の植物誌セミナー
帝京科学大学 別府敏夫

■9月(144グループ、延3,997人)

早稲田大学雄弁会
駒澤大学付属マスコミュニケーション研究所
スポーツ新聞
東京大学分子細胞生物学研究所
早稲田大学ユネスコ寺小屋事業と世界遺産

日本大学 伊坂裕子
東京工科大学intebro
桜美林大学 高橋真義
東京学芸大学 及川英二郎
駒澤大学 川崎明子
東京学芸大学 小林正幸
中央大学 林田光博
駒澤大学 清滝仁志
東京工業高等専門学校機械工学科
東京工科大学吹奏楽団

大妻女子大学 小谷 敏
法政大学 湯川 新
女子美術大学リーダーズキャンブ
上智大学模擬国連委員会

明治大学 長沼秀明
首都大学東京教育学部
駒澤大学 姉齒 暁
中央大学 早川宏子
東京大学社会基盤学科
立教大学 鈴木理江子
首都大学東京 江原由美子*
駒澤大学 日笠完治
日本大学雄弁会

中央大学西田哲学研究会
国際基督教大学 小谷英文
創価大学 加賀譲治
聖心女子大学 小城英子
明治大学雄弁会
青山学院大学 木村松雄
立教大学 成田康昭
千葉大学炭焼き
慶應義塾大学 小菅隼人
明星大学 吉川かおり
立教大学 中村陽一
東洋大学正田ゼミナール
東洋大学スイッチ

早稲田大学絵画会
首都大学東京哲学科
東京外国語大学伯牙会
芝浦工業大学 毛井正典
武蔵工業大学 森木一紀
アイセック慶應義塾大学委員会OUVFA

東京工科大学 毛塚博史
桜美林大学 石川利江
中央大学よさこいチーム学生
青山学院大学 白井邦彦*
芝浦工業大学工学部建築工学科

明治大学科学技術英語
中央大学 井村進哉
駒澤大学 坪井 健
法政大学 山本 茂
中央大学 露木恵美子
日本女子大学 坂田 仰

中央大学 牛嶋 仁
明治大学 竹下俊郎
法政大学 粕谷信次
武蔵大学 杉井純一
電気通信大学 寺田 実
東洋大学 増子敦仁

日本大学 植山剛行
東洋大学 久松佳彰
青山学院大学 井出 静
東京女子大学 高橋作太郎
青山学院大学寺東ゼミ
東京女子大学 中村真人
桜美林大学 福嶋輝彦
青山学院大学 横谷輝男

東京工業大学 渡部卓雄
中央大学 松丸和夫
大妻女子大学 鄭 映恵
東京理科大学工学部建築学科
早稲田大学芸術学校セミナーハウスワークキャンブ
アイセック慶應義塾大学湘南藤沢委員会

東洋大学 植野弘子
東京経済大学 長島誠一
早稲田大学 田口尚志
東京外国語大学タイ語科
首都大学東京「寮」
東京外国語大学 鈴木 茂
アイセック早稲田大学委員会
東京工業大学彌田・中川研究室

電気通信大学 樽井 武
東洋大学 白川部達夫
全日本ディベート連盟
日本生物工学会
秀明大学 山口桂子
東京聖栄大学 岡田 弘
高千穂大学 大島久幸
フューチャー2007
聖学院大学ハンドベルクワイア

東京大学生産技術研究所
東京無限可積分系・保形形式論合同セミナー
日仏学生フォーラム
第47回大学教員セミナー
清泉女子大学 鈴木嵩夫
共栄大学公認会計士講座
第18回大学職員セミナー

上智短期大学 高野敏樹
実践女子大学 松田義幸
鶴見大学 長塚 隆
鶴見大学 元木章博

CREST若手の会
東京国際大学 萩原康子
成安造形大学 大岩剛一
都留文科大学 東由美子
日本大学陸上競技部
南大沢オークス
日米学生会議
第34回国際学生セミナー
東京薬科大学
学科製図.com

アライド
ツリーマスター・クライミングアカデミー
ホワイトホースシアター

(株)グッドウイル
積水ハウス(株)商品開発部
サイバーシルクロード八王子
三鷹市民混声合唱団フォーゲル
シナリオセンター
日本基督教団林間つきみ野教会
キリストの教会伝道学院

(株)スリーボンド
(株)いなげや
(株)生活科学運営
ぶどうの樹キリスト教会
調布南キリスト教会
(株)オザム
(株)ノジマ
日本ハウスカア協会
樹木・環境ネットワーク協会
混声合唱団うたの森

個人利用

桃山学院大学
(有)曾我部産業
MTAA-12

日帰り利用

エコ・ネットワーク八王子*
拓殖大学岩沢・早川研究室
早稲田大学芸術学校
(株)祭
首都大学東京 伊永隆史
帝京科学大学 別府敏夫



河津桜1年目

八王子セミナーハウスのリニューアル作戦

昨年春にさくら館がオープンし新しく綺麗な施設が出来ますと、従来の施設が如何にみすばらしく、これまで如何にご利用いただきました方々にご無理をお願いしていたのか、を改めて知る事となりました。

みなさまに親しまれる施設であるためにはどのようにしたら良いのか、限られた予算の中で有効な結果が得られるよう、施設スタッフは頭をめぐらせ幾度となく、工事関係者と打合せをしながら進めています。

これまでのリニューアル第1弾

- ・いろは坂から本館の階段を整備し手すりを取付けました。
- ・入口2箇所の看板を取替えました。
- ・本館・講堂・大学院セミナー室のトイレをウォッシュレットに取替えました。
- ・本館・講堂の照明器具を節電のためインバーターに取替えました。
- ・講堂から本館の食堂に通じるブリッジを綺麗に塗り替えました。
- ・講堂・松下館周辺の立木を伐採し、外からの明るさを取り入れました。
- ・本館・記念館・松下館・長期館に雨漏り防止の工事をしました。

これからのリニューアル第2弾

① 食堂へのバリアフリーを行います。

これまで本館4階の食堂へ行くためには、フロントを通過して階段を登るコースと、講堂から小山の階段を登り降りしてブリッジを通る2コースがありました。いずれの場合にも階段を使うため、車椅子を使われる方や足の不自由な方にはご不便をおかけしていました。

この度、東京都の補助を受けて、小山を迂回するスロープを設置することが決まり、さらにブリッジから



▲講堂から本館ブリッジまでバリアフリーのスロープを作ります。

入ったフロアから食堂に上がる階段も車椅子も簡単に登れる機械を購入し、操作もスタッフが無理なく出来るよう講習を受けることになりました。この工事は11月～翌年1月まで行い、2月からご利用いただける予定で進めています。

② 松下館客室にユニットバスを設置します。

これまでシングルルームの客室は、トイレと風呂は共有でご利用いただきましたが、客室内にユニットバスを設置し内外装を整え、全客室がゆったりとお寛ぎ頂ける施設となります。

③ 国際館のリニューアル工事を行います。

これまで宿泊定員に比べシャワー・トイレの数が少なく、大変ご不便をおかけしていました。シャワー室はこれまでの4ヶ所から12ヶ所に、また各階のトイレも増設しウォッシュレットにすることにしました。さらに4室に2段ベットをいれて収容人数を増やす予定です。そして冷暖房の可能なエアコンを全館取替える予定にしています。この工事は2月末まで行い、3月からご利用いただける予定で進めています。

(頼 仰史)



▲2Fにシャワーユニットを8台設置します。



▲1Fの客室を改造、男女別便所を作ります

2007年度 開催セミナー報告

| セミナー名 | 日程 | テーマ | 講師 | 参加者数 |
|---------------------------------|-----------|---|------------------------|------|
| 自然セミナー 四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ | 春の会 | 一春 らんまん!～ | 福田一郎(東京女子大学名誉教授) | 23名 |
| | 夏の会 | 一夏一 | | 13名 |
| 第1回FDセミナー | 5月26日 | FDの新しい方向性 | 本間正人(帝塚山学院大学客員教授) | 36名 |
| 第1回大学人コミュニケーション力養成セミナー | 6月29日～30日 | 輝く大学を創る原理原則を考える ～大学を元気にするコミュニケーション力とは～ | 高橋真義(桜美林大学大学院教授) | 22名 |
| 第47回大学教員セミナー | 9月11日～12日 | 大学改革と教育の質保証 | 鈴木敏之(文部科学省高等教育局企画官) | 32名 |
| | | | 門脇厚司(筑波学院大学学長) | |
| | | | 木下泰一(河合塾研究開発企画部部長) | |
| | | | 小笠原正明(東京農工大学教授) | |
| 前田早苗(大学基準協会大学評価・研究部部長) | | | | |
| 文部科学政策速報セミナー | 9月22日 | 共同利用・共同研究の推進 | 徳永 保(文部科学省研究振興局長) | 27名 |
| 第18回大学職員セミナー I | 9月14日～15日 | 激動の時代に輝く大学を創る | 齋藤諦淳(武蔵野大学学長) | 28名 |
| | | | 村田善則(文部科学省高等教育局学生支援課長) | |



▲四季の植物誌から創作品の発表



▲FDセミナー



▲文部科学政策速報セミナー



▲大学人コミュニケーション力養成セミナー
慌ただしいIT時代こそ、コミュニケーションを持てる能力が求められます。



▲国際学生セミナー



▲大学教員セミナー



▲大学職員セミナー

2007年度後期 開催セミナー

| セミナー名 | 日程 | 講師 |
|--------------|--------------|--------------------------------|
| 第2回FDセミナー | 11月10日 | 本間正人 (帝塚山学院大学客員教授) |
| 古代史セミナー | 11月10日～11日 | 古田武彦 (歴史学者・元昭和薬科大学教授) |
| 多文化共生セミナー | 11月16日～17日 | 船曳建夫 (東京大学大学院教授) |
| | | 川田順造 (神奈川大学客員研究員) |
| | | 古矢 旬 (東京大学大学院教授) |
| | | 大塚和夫 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長) |
| | | 花澤聖子 (神田外語大学准教授) |
| | | 渡邊啓貴 (東京外国語大学教授) |
| 自然セミナー「秋」 | 11月23日 | 福田一郎 (東京女子大学名誉教授) |
| 第18回大学職員セミナー | 12月7日～8日 | 徳永 保 (文部科学省研究振興局長) |
| | | 佐藤東洋士 (桜美林学園理事長・大学学長) |
| 第48回大学教員セミナー | 2008年3月3日～4日 | 未 定 |

☆詳細が決定次第、ホームページでご案内致します <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み

TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

○寄贈図書 (2007年4月～10月)

松岡八郎「見楠集」 (小冊子/2007年10月)
 「国際物理オリンピックへの挑戦」(DVD)
 世界物理年日本委員会事務局
 「西村秀夫記念文集 時代の課題に答えて」
 西村秀夫先生記念文集刊行会
 「GHQの没収を免れた本」 小堀桂一郎
 「法政大学FDハンドブック」 法政大学FD推進センター

「ノルウェーの経済」 早稲田大学北欧研究所
 「ノルウェーの歴史」 早稲田大学北欧研究所
 「ノルウェーの政治」 早稲田大学北欧研究所
 「日本・ノルウェー交流史」 早稲田大学北欧研究所
 「ノルウェーの社会」 早稲田大学北欧研究所
 「なかった」 古田武彦
 「漁師」 財団法人 大同生命国際文化基金



Plain living and high thinking

制 編 発 行 作
 集 集 行 行 集 集
 八 八 財 財 財 財
 王 王 団 団 団 団
 子 子 法 法 法 法
 セ セ セ セ セ セ
 ミ ミ ミ ミ ミ ミ
 ナ ナ ナ ナ ナ ナ
 ー ー ー ー ー ー
 ハ ハ ハ ハ ハ ハ
 ウ ス ウ ス ウ ス
 ・ ・ ・ ・ ・
 ニ ユ ー ス
 No.173
 2007年11月発行

館長室から 大変貌

セミナーハウスのキャンパスが、大変貌を遂げつつある。
 野猿街道から入って来れば、遠来荘がなくなっていることに驚く。遠来荘はめでたく「嫁入り先」が見つかり、瀬戸内海を越えて四国に渡った。2年後には、西条において文字通り「遠来」荘として蘇る予定と聞く。生みの親の小泉氏や、永年愛用して下さった育ての親の渡辺禮子さん達に見送られて嫁入りした遠来荘の未永い幸せを祈りたい。

セミナーハウスの敷地内に市道が開通した。国際館の脇を通過していた私道が生格したのである。市道開通を記念する立派な石碑が、倉郷地区の皆さんによって、建立された。碑には、開通の功労者として中嶋嶺雄前理事長の名前が刻まれている。

最大の変貌は、留学生会館の下の谷が埋め立てられて、「平地」になりつつあることである。8万立米ほどの土を搬入して、谷を埋めたことにより、景観が一変した。土地が落ち着くまでの間は、畑にして農業体験セミナーを行おうと考えている。

これらの「変貌」を御先祖が御覧になれば、卒倒なさるかも知れない。

キャンパスの変貌に併せて、利用者を持つセミナーハウスから、利用者を創るセミナーハウスへと変貌しなければと思っている。

館長 荻上 紘一

